

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-510980(P2000-510980A)

【公表日】平成12年8月22日(2000.8.22)

【出願番号】特願平10-505787

【国際特許分類第7版】

G 0 6 T 1/00

G 0 6 F 12/14

G 0 9 C 5/00

H 0 4 N 1/387

// H 0 4 N 7/08

H 0 4 N 7/081

【F I】

G 0 6 F 15/66 B

G 0 6 F 12/14 3 2 0 E

G 0 9 C 5/00

H 0 4 N 1/387

H 0 4 N 7/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月9日(2004.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年 6月 9日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1 事件の表示

平成10年 特許願 第505787号

2 補正をする者

名 称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス
エヌ ヴィ

3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号

霞山ビルディング7階 電話(3581)2241番 (代表)

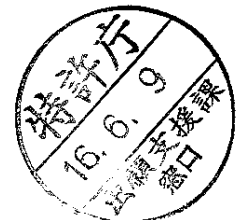
氏 名 (7205)弁理士 杉 村 興 作



4 補正対象書類名 請求の範囲

5 補正対象項目名 請求の範囲

6 補正の内容 別紙の通り



万 式 交



1. 請求の範囲を下記の通りに補正する。

「 請求 の 範 囲

1. 情報信号中に埋め込まれている透かし情報を検出する方法であって、前記情報信号と供給された透かし情報との相関をとる相関ステップと、前記相関の結果を評価する評価ステップとを具えている透かし情報検出方法において、前記情報信号及び前記供給された透かし情報の一方又は双方を予測フィルタリング処理し、これにて処理した情報信号と前記フィルタリング処理した透かし情報とに対して前記相関ステップを適用することを特徴とする透かし情報検出方法。
2. 前記予測フィルタリング処理を前記情報信号の予定した統計的特性に適合させることを特徴とする請求の範囲 1 に記載の方法。
3. 前記双方の予測フィルタリング処理を同じとすることを特徴とする請求の範囲 1 に記載の方法。
4. 情報信号中に埋め込まれている透かし情報を検出する方法であって、供給された透かし情報によって決定されるフィルタ係数を用いて前記情報信号をフィルタリング処理するステップと、前記フィルタリング処理の結果を評価するステップとを具えている透かし情報検出方法において、前記フィルタ係数を前記情報信号の統計的特性のモデルによっても決定することを特徴とする透かし情報検出方法。
5. 情報信号中に埋め込まれている透かし情報を検出する装置であって、前記情報信号と供給された透かし情報との相関をとる相関手段と、前記相関の結果を評価する評価手段とを具えている透かし情報検出装置において、前記情報信号をフィルタリング処理する予測フィルタ及び前記供給された透かし情報をフィルタリング処理する予測フィルタの一方又は双方の予測フィルタを設け、フィルタリング処理した情報信号及びフィルタリング処理した透かし情報を前記相関手段に供給するようにしたことを特徴とする透かし情報検出装置。
6. 前記予測フィルタを前記情報信号の予定した統計的特性に適合させるようにしたことを特徴とする請求の範囲 4 に記載の装置。
7. 前記両予測フィルタを同じものとすることを特徴とする請求の範囲 5 に記載の装置。
8. 情報信号中に埋め込まれた透かし情報を検出する装置であって、フィルタ係数を用いて前記情報信号をフィルタリング処理するフィルタと、供給された透かし情報に応じて前記フィルタ係数を計算する計算手段と、前記フィルタリング処理の結果を評価する評価手段とを具えている透かし情報検出装置において、前記計算手段を前記情報信号の統計的特性のモデルに従って前記フィルタ計数を決定するのにも適合させるようにしたことを特徴とする透かし情報検出装置。」